

2022年2月

NPO法人 学習塾全国連合協議会 東日本ブロック

NPO 塾全協

# 塾全協東通信



題字：伶齋（白川亮 進ゼミ柏）



東日本ブロック理事長内藤潤司

## 人類が経験してきた感染症との戦い

2022年を迎えました。コロナもこのまま収束するものと期待しておりましたが、今日1月18日現在、一日の新規患者数が東京都で5,185人、全国では3万人を突破し、過去最多を更新したとのこと。ただ救いといえば重症者数が多くなく、病床使用率が23.45%にとどまっていることです。でも油断の許さない状況です。

私たちは、この二年間、コロナ感染と対峙してまいりました。一昨年2月にイタリアのヴェネチアの感染爆発を対岸の火事のような感じでそのドキュメンタリーを見ていました。

初めてヴェネチアに行ったとき、サンマルコ広場に通じる狭い路地に舞踏会用の仮面を売る店の多さに驚き、2度目に行った時は、その仮面の中に、真っ黒で鶴のように長くちばしの異様な仮面が気になっておりました。そのドキュメンタリーの中でその異様な仮面の謎が解けました。それは、かつてペストが流行った時、医者が患者を診察するときに、感染しないように、ちばしの先に薬草をつめその仮面をかぶったとのことでした。

ヨーロッパの歴史は、その裏面史としてペスト感染との戦いがあります。感染を防ぐためペスト患者を城壁の町に閉じ込め焼き殺したということもありました。多くの文明が、突如世界の歴史から消失したのも、感染症が原因と言われております。

このコロナ感染も、本来なら、実は私たち現代の文明、経済を破壊しかねないことかもしれません。でも現状何とか崩壊することなく、維持できているのは、我々にとっては、予防接種による医学の進歩守られていることと、オンラインで授業が継続できるという科学技術の成果によることでしょう。しかしながら、この社会の不安が、そして大人の不安が、子供たちに影響しないはずがありません。中学1年生から入塾した生徒の顔は一度も見たことなく、マスクを通した表情です。生徒の気持ちに近づくのはなかなか困難です。しかし、あと少しと考へ、忍耐して頑張らなければなりません。

コロナの感染がまだ話題にならない時、私たち夫婦は、長年の夢である船旅にその4月に出る予定でした。ヴェネチアのサンマルコの教会を背景に、夕日を浴びながら地中海の船旅をする計画でした。しかしながら、今はとてもそのような状況ではありません。再び行くことを夢見て、今日も頑張ります。

コロナが収束したら、したい事、行きたい所がいっぱいあることと思いますが、その夢の実現に向けてもう少し頑張らしましょう。「艱難は、練達を生じ、練達は希望に至る。」

# 埼玉東部「教材研究会」

日時：2022年1月11日（火曜）10:00-13:00

場所：越谷中央市民会館5F

主催（共催）：NPO法人ゆめネット、NPO法人埼玉教育ネット

NPO法人学習塾全国連合議会東日本ブロック

参加企業：12社（育伸社、えいすう総研、エデュケーショナルネットワーク、学書、教育開発出版、城南進学研究社、スプリックス、トーエイ、日本教材出版、文理、モノグサ、みんなぐく）

レポーター：中村基和

越谷は一昨年星野（重）先生の塾を訪問して以来2度目。東京中野区から約2時間かけて遠征してきました。地図では駅から徒歩6分で越谷市役所の向かい側ということで行ってみました。いつもの教具教材展を催してる柏商工会議所のようなこじんまりとした質素な感じの建物を想定していたのですが、それらしき建物が見当たりません。その代わり上野で見かけるような大きな博物館風の建物があったので、「もしかしたら…」と扉のところを見たら「越谷中央市民会館」！いやはや、お見それしました。

左の建物です。



今年のご存じのとおり中学校の英語の教科書が大幅にむずかしくなったので、主として英語の教材を見ました。どの会社も大幅に増えた単語の練習に力を入れていました。英語のみならず、今回はリモートシステムを使った教材が目立ちました。





編集 NPO 塾全協東日本ブロック事務局長 中山和行  
〒350-0922 埼玉県比企郡鳩山町今宿 553-1  
Tel 49-296-1111 fax 049-298-3405 E-mail gyqbt650@ybb.ne.jp  
NPO 塾全協東日本ブロック HP <http://www.jzk-east.com>